

日刊産業新聞 24.7.4



あいさつする 宮ノ腰社長

**重仮設資材リース・販売・工事業の豊和スチール**(本社：大阪市西区、宮ノ腰孝雄社長)はこのほど、会社設立50周年を迎え、次期(2025年6月期)方針発表会と合

### 豊和スチール

わせて社内関係者を中心とした記念式典を開催した。

6月29日に大阪市北区

## 設立50周年記念式典 大阪で、50人が節目祝う

のザ・リッツ・カールトン大阪で、社員と家族など関係者約50人が集まり「第51期経営方針発表会」と記念式典・パーティーを行った。

記念式典では、宮ノ腰社長があいさつに立ち「第50期が設立以来、最高の売り上げを計上できたことの喜びを分かち合い、来期にもつないで「こう」と述べた。会社の歩みを映像や画像で紹介し、歓談に移った後、業績優秀者の表彰や昇格人事の発表が行われた。

主要取引先を代表してヒロセ(東京都江東区)、日本シユウキケンセツ(高松市)、日鉄神鋼建材

(東京都千代田区)、日本経営(大阪府豊中市)の各社トップによる祝辞が映像で披露された。宮ノ腰社長から創業者である故宮ノ腰重雄氏の夫人のきよ子さんへの花束贈呈なども行われた。

同社は1972年に創業し、74年に設立。鋼矢板・日形鋼・鋼製山留材など重仮設資材のリース・販売と工事業を主力とし、関西、関東、四国、中国、九州に工場・支店がある。独自の山留用緩衝材「HS真込めブロック」や、パラミックス工法(パネル式鋼管棧橋架設工法)などを展開する。

築工事と切断機(丸鋸盤や帯鋸盤など)3台の更新を実施した。

今期について本多社長は「販管費見直しなどの筋肉質な財務体質を進める」方針。このほか、建機部品事業で、農業機械向けアフターパーツ販売に着手する。販売を開始した自

## プロテリアル お守り刀展覧 愛知・岡山で

プロテリアルは3日、第17回お守り刀展



覧会」に協賛すると発表しました。

お守り刀は古来、魔

から身を守るために所持されてきた短刀。現代でも子どもの健やか

デジタルサイネージ

### 人事異動

産業振興

(6月28日付)

- ▽新任 取締役北日本事業所長原料事業特命(北海道地区対応) 川原隆
- ▽新任 取締役広畑事業所長原料事業特命(西日本地区対応) 横山嘉則
- ▽執行役員原料事業部長 菅業総括部長 竹内正守
- ▽新任 執行役員人事労政部長経理部長 薬師保弘
- ▽顧問(非常勤) 総務取締役 井口博元

ことを目的として2005年から開催されている。今回は岡崎城・三河武士のやかた家康館(愛知県岡崎市、会期は7月13日~9月23日)、備前長船刀剣博物館(岡山県瀬戸内市、同10月1日~11月17日)で開催す。

プロテリアルは、日本刀の唯一の材料である玉鋼を材料として日本伝統美術工芸の粋を集めて製作されてきた

### 退職

(5月27日付)

- ▽退任(取締役) 大山商事社長 倉孝史
- ▽退任(取締役) 豊田産業
- ▽退任(取締役) 豊田産業
- ▽退任(取締役) 豊田産業

淀鋼商事(大阪市中央区、社長)は26日に会と取締役会杉本強営業副代表 菅業推進事業 宮美文営業副代表 取締役に就任した林賢治氏、徳氏が監査役に、隅康令取締役に郎監査役、葛庄査役は退任した